事業進捗状況											<u>( 単位:白万円)</u> 		
事	-			再評					54人 <i>i</i> 兀 I		費用対便益分析結		
事業名	番号	箇所名	市町村名	価の	全体事業概要と目的	採択年	総事業費		= ******	事業を巡る社会経	果・コスト縮減の	今後の事業の見通し	委員会意見等
名	ᇹ			理由				進捗率	事業進捗内容	済状況等の動向	可能性・代替案の 検討 等		
						目標年	用地費	進捗率					
					【全体事業概要】 排水機場の新設 1200×290ps×2台 (立軸斜流ポンプ) 1200×200kw×1台 (立軸斜流ポンプ)	H 5	2,919	68.4%	台 平成15年度 除塵設備・場内整備 平成16年以降	事業推進の支障と なる周辺環境の変 化はない。	B / C = 1 . 0 9	平成15年度で、 除塵機の設置・場 内整備工事が完了 し、平成16年度 から新設ポンプの	平成5年度に事業着手し、1 0年を経過して継続中の事業で ある。審査を行った結果、事業 継続の妥当性が認められたこと から事業継続を了承する。 ただし、湛水防除事業と地盤
湛水防		城南地区	≅		,	113	2,792	68.1%	自家発電機、 旧機場・樋管取壊 し、 堤防復旧			稼動を予定している。	たし、後が別時事業と地温 沈下対策事業を同時に行わなければいけない特殊な事情を有する当地域においては、今後、農 業振興地域の見直しをする際、 浸水リスクを増加させないよう
湛水防除事業	4		桑名市		【事業目的】 約1mに及ぶ地盤沈下により 湛水被害が生じているため、 営農を安定させる施設の設置 が強く望まれている。この枝 め、排水機を設置し、大規模 湛水被害を未然に防ぐと共 に、水田の高度利用の促進を 図る。	H 1 8	-	_					展内が入った。 原及び市においるものである。 場及び応を求めるものである。 また、審査を行って等者側に 多くの審査を行って等者側に 資わり、一般である。 多は、関係の表別である。 をは、関係の表別である。 をは、関係の表別である。 をは、関係の表別である。
					【全体事業概要】 用水路の改修 L=26,807m 揚水機場の新設 400×90kw×3台 (立軸鉛流ポンプ)	H 5	3,465	68.7%	揚水機 400 x 3 台 排水路 L =6,184m 平成 1 5 年度	事業推進の支障と なる周辺環境の変 化はない。	B / C = 1 . 0 9	排水路工 L =4,527m について地元と一	平成5年度に事業着手し、1 0年を経過して継続中の事業である。再審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 ただし、費用対効果分析手法
地盤沈下	5	城南地区	桑名市		(立軸斜流ポンプ) 排水路の改修 L = 1 0 , 7 1 1 m		3,011	66.3%	用水路 L=2,200m 排水路 L=55m 平成 1 6 年度 用水路 L=5,588m 排水路 L=4,472m			にしいて地元と一体となって事業の 連捗に努揮できる よう進めていく。	として事業費を更新効果とする ことは一般に理解が得難い。し たがって、今後は、県民への説 明責任を果たす観点から経済効 果を算定する手法を用いること
$\overline{}$	)	7% H3 * C C C	글 ፲ K		【事業目的】 今日までに地盤沈下量が、 0.3~1.2mの範囲で生じているため、水路の機能障害が発生し、営農の大きめで発生し、営農での大きので発生した。 害業で、地盤沈下によっている。 事業で、地盤沈下機能障利し、農業基盤の高度利用と農業経営の安。	H 1 9	149	84.1%					が好ましいと考える。国関係機関にもこの部分の検討を求めるものである。また、過去5年間、多くの審査を行ってきたが説明資料の専門用語や事業者側にたっため、今後の委員会しやすいである。に、関い、県民に理解していては、県民に理解していため、県民に理解していては、場別に努めるよう求めるものである。

									(単位:白万円)				
事	釆			再評			総事業費			事業を巡る社会経	費用対便益分析結果・コスト縮減の		
事業名	番号	箇所名	市町村名	価の	全体事業概要と目的	採択年		進捗率	事業進捗内容	海米を巡る社会経済状況等の動向	可能性・代替案の	今後の事業の見通し	委員会意見等
名				理由		日煙年		進捗率	子来连5711日	777773	検討等		
					【全体事業概要】 離岸堤(潜堤) L= 138m 養浜工 A= 20,700 ㎡ 堤防工(階段) L=79 m			91.7%	主な工事は完了し残る工事は、養浜砂の る工事は、養浜砂の 安定化対策工事。 平成14年度に離岸 堤、養浜工がほぼ完	産登録に向けて、 集客交流の機運が 盛り上がってきて	今年度の調査設計 では、各種工法を	平成16年度事業 完了を目標に事業 を推進していく。	
海岸環境	6	島勝地区	海山町		道路工 L=250 m 付帯施設工(場内整備、 ハウス等) 1式	H 4	2,300	91.8%	している。本年7月  に海開き(供用開  始)をし、県内外か  ら多数の海水浴客が	銚子川沿いに集客 交流施設が近年整 備されて、入り込 み客が増加してい	トで効果の大きい		
海岸環境整備事業	6		海山町		【事業目的】 農地保全に係る海岸地域 において、国土保全と調 和を図りつつ休養の場と して、その利用に供する ための海岸環境整備を行 う。	H 1 6	21		訪れている。	で整備される海連 で表場をこれるとに 表して、 表して、 をはれて、 をはれて、 をはれて、 をはないに を対している。 でいる。			
					【全体事業概要】 延長 2.95km 幅員 5.5(7.0) m	S 6 3	823		全体2.95kmの うち、2.19km を完成している。	なるような周辺環	他事業との調整に より、残土処理費 を低減するととも に、再生材を使用	17年度完成供用	平成10年度に再評価対象 事業として一度、審査を経た 事業であり、その後5年を経 過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から1
一般農道	7	玉城南部地 区	玉城町				604	77.1%			しコスト縮減に努 めている。 -		1 番について事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。 なお、今後ともより一層のコストの削減に努めるととも
農道整備事業	,		_1_1_4%,PU_]		【事業目的】 広域農道サニー道路へ接続する幹線農道を整備 し、流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品質の向上による農業経営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図る。		219	90.8%					に、農道整備事業と農業振興 との連携に努め早期に事業効 果を発現されることを望むも のである。

			1		T			と対象に		<u>( 単位:白力円)</u> 			
車	_			再評				事業進技	ソ1人 <i>i</i> 兀 I		費用対便益分析結		
事業名	番 号	箇所名	市町村名	価の	全体事業概要と目的	採択年	総事業費			事業を巡る社会経	果・コスト縮減の	今後の事業の見通し	委員会意見等
名	亏			理由				進捗率	事業進捗内容	済状況等の動向	可能性・代替案の 検討 等	7 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	2322333
						目標年	用地費	進捗率					
揮発					【全体事業概要】 延長 2.1km 幅員 6.0(8.0) m	H 5	1,256		全体2.1kmのう ち、1.6kmを完 成している。	事業推進の支障と なるような周辺環 境の変化はない。	残土近辺処理による処理費を低減するとともに、再生 材を使用しコスト	残る用地を早期に 確保し、事業の早 期完成供用を目指 して事業を推進す る。	平成5年度に事業着手し、 10年を経過して継続中の事 業である。 再評価の結果、7番から1 1番について事業継続の妥当
油税財源身	Ω		松阪市、			11.5	1,025	86.2%			縮減に努めている。		性が認められたことから事業 継続を了承する。 なお、今後ともより一層の コストの削減に努めるととも に、農道整備事業と農業振興
揮発油税財源身替農道整備事業	0	区	多気町		【事業目的】 多気町と松阪市の一部地域の幹線農道を整備し、 流通経路の確保、農産物の生産コストの低減及び品の の自上による農業の改善、 地域の活性化を図る。	H 1 8	231						との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
					【全体事業概要】 延長 1.42km 幅員 5.5(9.0) m、歩道2m	H 5	1,510		全体1.42kmの うち、1.22km を完成している。	事業推進の支障と なるような周辺環 境の変化はない。	残土近辺処理による処理費を低減するとともに、再生材を使用しコスト	残る用地を早期に 確保し、事業の早 期完成供用を目指 して事業を推進す る。	平成5年度に事業着手し、 10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から1 1番について事業継続の妥当
ふるさと農	a	南勢東部地区	南勢町				1,247	65.4%			縮減に努めている。		性が認められたことから事業 継続を了承する。 なお、今後ともより一層の コストの削減に努めるととも に、農道整備事業と農業振興
ふるさと農道整備事業	9	X	MI STEPT		【事業目的】 一般農道切原へ接続する 農道を整備し、流通経路 の確保、農産物の生産コスト の低減及び記質の句上に よる農業経営の安定と生 活環境の改善、地域の活 性化を図る。	H 1 9	263	99.6%					との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。

		1		1						<u>( 単位:白万円)</u> 			
車	_			再評				事業進技	<sup>火</sup> 1人 <i>i</i> 兀	<b>—</b> 912 4 4 11 4 1 = 1	費用対便益分析結		
業	番号	箇所名	市町村名	価の	全体事業概要と目的	採択年	総事業費			事業を巡る社会経	果・コスト縮減の	今後の事業の見通し	委員会意見等
事業名	亏			理由				進捗率	事業進捗内容	済状況等の動向	可能性・代替案の 検討 等	7 12 1 3 1 3 1 3 1 2 2 2	2,7,2,5,5
						目標年	用地費	進捗率					
					【全体事業概要】 延長 1.35km 幅員 4.0(5.0) m	H 5	507	53.6%	全体1.35kmの うち、1.23km を完成している。	なるような周辺環 境の変化はない。	B / C = 1 . 7 3 他事業との調整に より、用地費を低 減するとともに、 再生材を使用しコ	残る用地補償を今年度に終え、事業の早期完成供用を目指して事業を推進する。	平成5年度に事業着手し、 10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から1 1番について事業継続の妥当
ふるさと農	10	南勢西部地区	南勢町		【事業目的】	113	492	52.2%			スト縮減に努めている。		性が認められたことから事業 継続を了承する。 なお、今後ともより一層の コストの削減に努めるととも に、農道整備事業と農業振興
ふるさと農道整備事業	10	<u>X</u>	<b>円勢</b> 町		【事業目的】 受益地内の農道を整備 し、流通経路の確保、農 産物の生産コストの低減及び 品質の向上による農業経 営の安施設や避難港への 力セスなどの生活環境の 改善、地域の活性化を図 る。	H 1 9	15	93.3%					との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。
					【全体事業概要】 延長 4.6km 幅員 5.5(7.0) m	H 5	3,615		全体4 . 6 k mのう ち、3 . 5 k mを完 成している。	なるような周辺環	他事業との調整に より、残土処理費 を低減するととも に、再生材を使用	用地の確保も終え ており、平成17 年度完成供用を目 指して事業を推進 する。	平成5年度に事業着手し、 10年を経過して継続中の事業である。 再評価の結果、7番から1 1番について事業継続の妥当
ふるさと農道整備事業	11	青山地区	青山町				3,099	87.3%			や伐採木根枝を法 面緑化に利用によ リコスト縮減に努 めている。		性が認められたことから事業 継続を了承する。 なお、今後ともより一層の コストの削減に努めるととも に、農道整備事業と農業振興
道整備事業	11	HUNCE	i-∃ UH ¤J		【事業目的】 伊賀地域を回廊に結ぶ基 幹農道(伊賀コリドー ル)の一部区間を整備 し、流通経路の確保、農 産物の生産コストの低減及び 品質の向上による農業経 営の安定と生活環境の改善、地域の活性化を図 る。	H 1 7	516	100.0%					との連携に努め早期に事業効果を発現されることを望むものである。

								事業進捗	步状況		費用対便益分析結		
事業名	番号	箇所名	市町村名	再評 価の 理由	全体事業概要と目的 - -	採択年	総事業費 工事費		事業進捗内容	事業を巡る社会経 済状況等の動向	関用対関温力が高 果・コスト縮減の 可能性・代替案の 検討 等	今後の事業の見通し	委員会意見等
					【全体事業概要】 防波堤(東) 26 0m 防波堤(北) 5 0m 浮桟橋(東)	Н 6			防波堤(東) 19 8m 防波堤(北) 4 7m 浮桟橋(東) 3基	長期に渡る不況から、本事業の進捗 が遅れているため、事業の終了年 度を見直した。		事業費の確保を図りながら、早期に事業効果の発現が 出来るように努めてまいりたい。	
港湾事	-00	鳥羽港港湾改修	鳥羽市		   4		10,200	71.0%	- 浮桟橋(中)				
事業		レスドラ			現在の鳥羽港佐田浜地区 の利用船舶の混雑を解消 し、船舶利用者等への サービスの向上を図る。 合わせて緑地等を整備に より良好な港湾景観を創 造するとともに憩いの場 を提供する。	H 2 0	_	_					
					【全体事業概要】 護岸(補強) L=69 4.9m	S 6 1	2,697	90.0%	護岸補強延長694.9m の内574.9mの整備が 完了している。今後 残延長120mを順次 施行を行う予定	に関する「地震防		引き続き事業の進 捗をはかり早期効 果の発現を目指す	昭和61年度に事業着手し、平成 10年度に再評価対象事業として一度、審査を経た事業であり、その後 5年を経過して継続中の事業にある。再評価の結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を
海岸		的矢港 (三ヶ所)	磯部町				2,565	90.0%					了承する。ただし、次の点について 意見を付するものである。 一、海 岸事業に限らず全ての公共施設・機 的維持管理について、ライフサイ がルコストの観点から適切な管理が 重要である。したがって、早急に持
事業		港湾海岸	EN PILL?		【事業目的】 老朽化した海岸保全施設 を改築し高潮災害から背 後の資産を防護する	H 1 8	_	_					続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。 一、事業を進めるにあたっては、時間とコストの管理をより積極的に行うための経済比較、代替案の立案を検討しその内容を明確にされたい。

_		1			1				(単位:白万円)				
=				क्त≉ल				事業進技	5状況		費用対便益分析結		
事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の	   全体事業概要と目的	採択年	総事業費			事業を巡る社会経	果・コスト縮減の	 今後の事業の見通し	委員会意見等
名	号	四川石	בר ה גור ויש רווי	理由	1 主体事業協安と自由	1本1八十	工事費	進捗率	事業進捗内容	済状況等の動向	可能性・代替案の	フ仮の事業の兄題し	安貝云思兄守
-						目標年	用地費	進捗率			検討等		
					【全体事業概要】 延長 600m 人工リーフ 3基 養浜 56,000m <sup>3</sup> 突堤工 1基	S 3 9	1,599	74.0%	人工リーフ1基の施 行を終え、養浜施行 のための仮設道路が 完成した。	のニーズが多様化 し、余暇志向や環 境に対する関心が 高まっている。	B / C = 2 . 6 3	引き続き事業の進 捗をはかり早期効 果の発現を目指す	昭和39年度に事業着手し、平成 10年度に再評価対象事業として一 度、審査を経た事業であり、そのを 5年を経過して継続中の事業であ る。再評価の結果、事業継続の妥当 性が認められたことから事業継続を
海岸	20	安乗地区建	阿児町		階段工 2基 斜路工 2基	333	1,521	74.0%		阿児町が東海地震 に関する「地震防 災対策強化地域」 に指定された。			了承する。ただし、次の点について 意見を付するものである。 一、生物多様性の重要性に鑑み、海浜生物の保全は大きな課題である。したがって、今後、事業を実施する場合は可能な限り環境への配慮に努めら
事業	28	設海岸	四元四		【事業目的】 侵食が甚だしい海岸において人エリーフと養浜により波浪を減衰させ高潮 や侵食による被害を防止する	H 1 7	_	ı					れたい。 一、海岸事業に限らず全 ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点 から適切な管理が重要である。した がって、早急に持続的な施設維持管 理の仕組みについて具体的に構築す るよう検討されたい。 一、事業を 進めるにあたっては、時間とコスト の管理をより積極的に行うための 済比較、代替案の立案を検討しその 内容を明確にされたい。
					【全体事業概要】 延長 430m 突堤工 183m 砂止潜堤工 228m 養浜工 84,500m	S 4 9	1,172	73.5%	の施行を終え平成1 1年度より養浜工に 着手し今年度末には 47,000m3施行済み	し、余暇志向や環 境に対する関心が 高まっている。	B / C = 1 4 . 3 7	引き続き事業の進 捗をはかり早期効 果の発現を目指す	昭和49年度に平成10年度に再 評価対象事業として一度、審査を経 た事業であり、その後5年を経過ら て継続中の事業である。再評価の結 果、事業継続の妥当性が認められた ことから事業継続を了承する。ただ
海岸	-00	道瀬地区建 設海岸	紀伊長島				1,094	73.5%	となる予定	紀伊長島町が東海 地震に関する「地 震防災対策強化地 域」に指定され た。			し、次の点について意見を付するものである。 一、生物多様性の重要性に鑑み、海浜生物の保全は大きま課題である。したがって、今後、事業を実施する場合は可能な限り環境への配慮に努められたい。 一、海
事業		設海岸	囲∫		【事業目的】 養浜により波浪を減衰させ高潮による被害を防止すると共に海水浴等の海岸利用にも配慮する。	H 1 8	_	_					岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、ライフサイクルコストの観点から適切な管理が重要である。したがって、早急に対続的な施設維持管理の仕組みについて具体的に構築するよう検討されたい。 一、事コメトの管理をより積極的に行うための経済比較、代替されたの常変を検討しその内容を明確にされたい。

_										(単位:自力円)			
事				击讏				事業進技	5状況 		費用対便益分析結		
事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の	   全体事業概要と目的	採択年	総事業費			事業を巡る社会経	果・コスト縮減の	ー 今後の事業の見通し	委員会意見等
名	号	ш// п	1961111	理由	工作事業院女と自己		工事費	進捗率	事業進捗内容	済状況等の動向	可能性・代替案の	7及00年来07九週0	<b>人</b>
						目標年	用地費	進捗率			検討等		
					【全体事業概要】 延長 1,000m 人工リーフ 5基	S 4 4	7,732	74.0%	人工リーフ5基の内 3基が完成し、残り 2基を順次施行を行 う予定	成16年6月に 「紀伊山地の霊場 と参詣道」として 世界遺産に登録予	B / C = 2 . 0 8	引き続き事業の進 捗をはかり早期効 果の発現を目指す	昭和44年度に事業着手し、平成 10年度に再評価対象事業として一 度、審査を経た事業であり、その 5年を経過して継続中の事業であ る。再評価の結果、事業継続の妥当 性が認められたことから事業継続を
海岸	30	御浜地区建	御浜町			3 4 4	7,272	74.0%		定である			了承する。ただし、次の点について 意見を付するものである。 一、七 里御浜海岸の保全は、海浜の砂収の 側点から流域の総合土砂管理の概 念が重要である。したがって、七里 御浜を核として各事業は総合的な計
事業	3	設海岸	[MY77,444]		【事業目的】 高波浪が来襲し侵食が甚 だしい海岸において人工 リーフにより波浪を減衰 させ高潮、高波や侵食に よる被害を防止する	H 2 1	1	_					画との関連ではを持つこと。一、 海岸事業に限らず全ての公共施設・ サイクルコストラーでは、かって、 が重要でないる。したがって、切りないで、 が重要でな施設維持管理の仕組みについて、 持続的な施設維持管理の仕組みについて、 は、日本のに、事業をあるにあたい。 では、時間とめのとなるにないでは、 極的に行うための経知を、 の立案を検討しその内容を明確にさいては、 の立案とを検討している。
					【全体事業概要】 延長 2,696m 人工リーフ 14基	S 5 8	15,062	70.0%	残り4基を順次施行 を行う予定	成16年6月に 「紀伊山地の霊場 と参詣道」として 世界遺産に登録予	B / C = 2 . 3 0	引き続き事業の進 捗をはかり早期効 果の発現を目指す	昭和58年度に事業着手し、平成 10年度に再評価対象事業として一 度、審査を経過して継続中の事業であ 5年を経過して継続中の事業であ る。再評価の結果、事業継続の妥当 性が認められたことから事業継続を
海岸	31	井田地区建	紀宝町				14,148	70.0%		定である			了承する。ただし、次の点について 意見を付するものである。 一、七 里御浜海岸の保全は、海浜の砂収の ているが重要である。したがって、七 御浜を核として各事業は総合的な計
事 業	5	設海岸			【事業目的】 高波浪が来襲し侵食が甚 だしい海岸において人工 リーフにより波浪を減衰 させ高潮、高波や侵食に よる被害を防止する	H 2 5	1	_					画との関連ではを持つこと。一、海岸事業に限らず全ての公共施設・機能の維持管理について、適切なつって、クライクルコストの観点から適切な早急にある。したがって、担保が重要である。した。単位、は、時間とは、一、事業を必要を検討しては、時間とめの企業を検討していては、時間とめのを明確に行うための経りに行うための容を明確にさいたい。

_											<u> (早121日月日)</u>		
_				<b></b>				事業進捗	b状况		費用対便益分析結		
事業名	番号	箇所名	市町村名	再評 価の	   全体事業概要と目的	採択年	総事業費	進捗率		事業を巡る社会経	果・コスト縮減の	  今後の事業の見通し	委員会意見等
李	号	画7/17	ברניף ניים כוון	理由	主体事業協安と目的	1本1八十	工事費	進捗率	事業進捗内容	済状況等の動向	可能性・代替案の	フタの事業の元週の	女貝女总允守
-						目標年	用地費	進捗率			検討等		
					【全体事業概要】 集落道 L = 5 0 m 防火水槽 2 基 避難所(用地整備) 2 箇所	Н 9	192		事業実施に向けた測 量調査を実施。	も近隣地域同様に 過疎化の傾向と	B/C=1.49 再生路盤材の活 用、建設資材の既 製品等使用による	平成20年度までに事業を完了して、集落内の安全性、利便性の向上を図りたい。	103番については、平成 9年度に事業着手し5年を経 過して未着手の事業である。 当事業は当初計画が変更され、大半が新規ともいえる項 目になっているため本委員会
<b>漁業集落</b>					<b>7 = * C 6 C C C C C C C C C C</b>	Н9 -	111	9.0%		備し生活環境の利 便性・安全性の向 上を図る。また、 近年、されている地 震津波災害に備え	るコスト縮減を図る。		10 再評価になりまないと判断する。 しかしながら、津波高潮に対する防災は、緊急を要するものであることから、集落道整備とあわせて事業継続を了
/- 環境整備事業	103	錦地区	紀勢町		【事業目的】 漁業集落道、防災安全施 設業集落連整備等の集落開 境を整備して安全を 向上と生機での 便ととはの での での での での での での での での での での での での での	H 2 0	81	0.0%		展店が災安全施設等 の整備が強く望ま れている。			を開こる。  ただ、安全が優先されなければならない防災事業といえども、代替案との比較減を図ることを求めるものである。また、当事業の遂行が長期に分分な対応をされたさしてを強いかな対応をされることを強いかな対応をされる。